

何気なく過ごしている時間の中にも

かわいいでしょ！「あずきちゃん」と言います。我が家のペットではありませんよ。雨降りでない朝に、ご主人と共に私のもとにやって来ます。北中近辺を散歩しているの、見かけた人も多いのではないのでしょうか。

「毎朝立っていらっしやって大変ですね」

と、多くの方が私に声をかけてくださいます。その度に、私は恐縮します。なぜなら、自分としては大変だと思っただけではないからです。

確かに、夏の焼け付くような日差しや、冬の凍てつく寒さには閉口しますが、「だったら、外に出ないでおこう」という気にはなりません。生徒たちとの出会いはもちろん、いろんな出会いが朝に待っていますので、自然と身支度を調べ、ワクワクした気もちで交差点に向かいます。

このあずきちゃんとの出会い触れ合いも、楽しみの一つになっていきます。

学園台の生徒たちが早々と七時過ぎに学校に到着すると、しばらくは、生徒があまり通りません。四十分ぐらいになると、生徒の姿が一気に増えてきて、七時四十五分から五十分辺りにピークを迎えます。あずきちゃんは、生徒があまり通らない時間帯に私のもとにご主人と共にやってきます。

かわいいですよ。ご主人に連れられてガード下を通過すると、交差点に立っている私の姿が目に入ります。すると、人が変わった、いや、犬が変わったようにご主人をぐいぐい引っ張りまわす。私をめぐがけて、「猪突猛進」ならず、「犬突猛進」してくるのです。

あずきちゃんには毎日のルーティーンがあり、ガード下を通過するといつも男の人がいて、少しの間だけ構ってくれとわかっていてるようです。声をかけ、触れてあげると、うれしそうにくるくる回ったり飛び跳ねたりします。これはあずきちゃんのルーティーンではなく、私のルーティーンにもなっています。

何気なく過ごしている時間の中にも、小さな素敵な出会いがあったり、心温まる一瞬があったりするものです。同じ時間を過ごすなら、やはり楽しい方がいいですからね。そのためには、その楽しみを自分で見つけることですね。

毎日出会うのは、北中生の皆さん、あずきちゃん、天徳分団の小学生、出勤途中のサラリーマン、ウォーキングしている地域の人たち、交差点の一角に咲いているパンジー……「感動が人を動かし、出会いが人を変える」相田みつを氏のこの言葉の温かさがしみじみと感じられます。

(四月二十一日 記)

